

く
り
ん
岡山
山

No.45
2012.1



社団法人 **岡山県産業廃棄物協会**

Expanding the limits — E series



Caterpillar が創りあげた 新環境性能マシン Eシリーズ デビュー!!

人と自然との調和をめざして、
Cat®油圧ショベル Eシリーズ始動。

Caterpillarの歴史と実績に誇られて誕生した「Eシリーズ」。排出ガス規制では世界で最も厳しいオフロード法2011年基準*をクリアする環境性能と、パワーシステムの統合制御による高い燃費効率を再立しました。人や自然と調和する建設機械の新たな時代に向けて、私たちの技術が動き始めています。

*オフロード法2011年基準：法定排出量基準法2011年基準
[平成22年10月1日現在自動車排出ガス規制]に準ずるオフロード法2011年基準

キャタピラーウエストジャパン株式会社

東中国本店 〒703-8245 岡山県岡山市中区藤原40 TEL.086-272-5211
岡山支店

ホームページアドレス <http://cwjl.catjd.com>

CATERPILLAR, Caterpillar, CAT, Cat及びACERTはCaterpillar Inc.の登録商標です。
VEGETABLE OIL INKはキャタピラー・ジャパン株式会社の登録商標です。

9100CO-73(0811)

未来が変わる。日本が変わる。  キャタピラー・ジャパンは
チャレンジ25に参加しています。



この印刷物は、環境にやさしい植物性インキを
使用して印刷し製造されています。

◆年頭にあたって◆

- 地道な実践活動が重要 社団法人 岡山県産業廃棄物協会 会長 岡本 靖磨呂 2
将来ビジョンの具体化とCSR活動の拡充を 公益社団法人 全国産業廃棄物連合会 会長 石井 邦夫 3
さらなる優良化を期待して 岡山県環境文化部長 高橋 邦彰 4
明日への一歩 岡山市環境局長 松田 隆之 5
これからの産業廃棄物対策について 倉敷市環境リサイクル局 局長 物部 健二 6

◆行政ニュース◆

- 〈岡山県からのお知らせ〉 産業廃棄物運搬車両の路上検査について 7
〈岡山県からのお知らせ〉 電子マニフェストシステムへの加入について 9
〈岡山県からのお知らせ〉 リサイクル届けの別表様式が平成24年1月1日から変更になります。 10

◆協会だより◆

- 平成23年度優良施設視察研修会（宿泊）に参加して 12
平成23年度第2回中国地域協議会開催 14
平成23年度県内優良施設視察研修会へ参加して 15
第10回産業廃棄物と環境を考える全国大会に参加して 17

◆支部ニュース◆

- 〈東備支部〉 東備支部環境クリーン作戦 19
〈備北支部〉 備北支部クリーン作戦 20
〈井笠支部〉 第14回井笠地域環境クリーン作戦実施 21
〈倉敷支部〉 第18回倉敷地域環境クリーン作戦 22
〈津山支部〉 第17回津山地域環境クリーン作戦 23
過去を振り返り、これからも！（趣味のコーナー） 24

-
- 〈世界見聞録27〉 マレーシア原生林帯をゆく 倉敷芸術科学大学 河邊誠一郎 25
-

◆青年部会のページ◆

- 青年部会日帰り研修会 29
趣味の会 第11回ボーリング大会開催 30

◆事務局だより◆

- 新規入会正会員 紹介／協会への入会勧誘のお願い 31
表紙カラーガイド／編集後記 32

地道な実践活動が重要

社団法人 岡山県産業廃棄物協会 会長 岡本 靖磨呂



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は、当協会の事業運営に対しまして格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の日本は、3月に発生しました未曾有の東日本大震災や紀伊半島等に豪雨をもたらした秋の台風などにより災害が多く発生し、自然災害等について改めて考させられた一年でもありました。

さらに、経済状況を見ますと、震災による景気の後退、欧州における財政危機と金融不安による投資や消費の落ち込み、急激な円高などにより、企業情勢や雇用環境は依然として厳しい状況にあります。

私たち産業廃棄物処理業界におきましても産業廃棄物の発生量の減少などにより経営環境は厳しく、しかしながら現代社会を取り巻く環境問題を考えます時、廃棄物の適正処理は勿論のこと、地球温暖化防止対策や自然環境の保全などに目を向けた取り組みが必要であります。このような社会経済状況の中であるからこそ、省資源・省エネルギーの推進、自然エネルギーの活用など低炭素で持続可能な社会の構築に向けた新たな事業の展開も視野に入れた対応もしていかなければならないと強く感じ、今一度当協会の課せられた社会的な役割を認識し、事業を実施してまいりたいと存じます。

特に、社会貢献事業の一環として各支部会員が主体となって地域住民や地元行政機関等と協力しながら県内一円で継続的に実施している「クリーン作戦等」の不法投棄物撤去作業や啓発活動は、生活環境の保全や県民福祉等に貢献し、また、青年部会が実施している小学生を対象とした「環境学習」は、次代を担う子どもたちがごみなどの環境問題に関心を持ち環境保全意識の高揚に繋がるものと確信いたしております。このような地道な実践活動は、当協会や産業廃棄物処理業界全体に対する信頼や理解をさらに深めていただくために極めて重要なことと思っております。

さらに、昨年4月に改正施行されました廃棄物処理法につきましては、産業廃棄物収集運搬業許可の合理化や新たな優良産業廃棄物処理業者の認定制度などがあり、意欲的に取り組んで事業の拡大やさらなる優良化に繋げることができるのではないかと思います。

なお、かねてからの最重要事案であります公益法人制度改革への取り組みにつきましては、関係の皆様方のご協力をいただき、おかげ様で昨年12月に岡山県へ一般社団法人としての申請を行いました。引き続き移行認可、今年4月1日の移行登記に向けまして努力してまいります。これもひとえに会員皆様方のご支援・ご協力があればこそと感謝申し上げます。

終わりにあたり、会員企業のますますのご発展と皆様方のご健勝ご多幸を心から祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

将来ビジョンの具体化とCSR活動の拡充を

公益社団法人 全国産業廃棄物連合会 会長 石井 邦夫



社団法人岡山県産業廃棄物協会の皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は、当連合会の諸事業に皆様の多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、未曾有の被害をもたらした東日本大震災等の甚大な災害が全国各地で発生した年でした。各被災地におかれましては、いまだ復旧・復興の途上の地域も多々あることとご推察申し上げるところでございます。いまま復旧・復興に向けた道のりを歩まれておられる被災地及び被災者の方々に対し、国を挙げての一層の支援が望まれるところでございます。当連合会といたしましても、被災地の各県協会との連携を図るとともに、各県協会と地元自治体との協力体制の推進のため、引き続き可能な限りの支援に努めて参る所存でございます。

また、昨年は、政治・経済においても、同時多発的に大きな国際問題が発生した年でもございました。具体的には、例えば中東地域における民主化運動の活発化と政情不安の影響による原油の高騰、欧米諸国の経済不安の深刻化と超円高による我が国経済への影響等、事例を挙げれば枚挙にいとまがないほどでございますが、これら世界情勢の先行きを左右するような事件が次々と起きたことに、強い危機感を募らせた一年であったかと存じます。

さて、われわれ産業廃棄物処理業の経営環境は、リーマンショック以降の景気の低迷が長期化する中であって、決して改善されたとは言い難く、依然として非常に厳しい状態が続いております。それぞれの企業におかれては、経済不況による廃棄物発生量の減少、異業種からの参入による競争の激化等への対応が、ますます必要になってくるものと考えられます。

一方、国におかれましては、循環型社会や低炭素社会を実現するための政策が強化されつつあり、この政策が展開される中で静脈産業を積極的に育成していこうという機運が生まれております。昨年4月に施行された改正廃棄物処理法の改正内容を見ましても、従来の規制一辺倒から環境ビジネスとしての産業廃棄物処理業の振興を図る方向への兆しを見せておりますことは、これから静脈産業の育成が本格的に展開されることの表れであると、我々は受け止めているところでございます。

その意味で、健全な産業廃棄物処理業の振興をいかに図っていくかが、循環型社会の形成に向けた、まさにこれからの政策課題であると申し上げても過言ではないことと思えます。

このような状況を踏まえ、当連合会におきましては、「産業廃棄物処理業の将来ビジョンの具体化」に向けて、長期的に検討する取り組みを始めたところであります。また、業界におけるCSR（企業の社会的責任）活動の拡充を図ろうと、昨年11月から新たなプロジェクトも開始しているところでございます。

様々な課題が山積しておりますが、循環型社会の形成と産業廃棄物処理業の発展のため、本年も皆様のご指導・ご鞭撻を頂戴できれば幸に存じます。

最後になりましたが、この一年が皆様にとりまして、すばらしい年でありますようお願い致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。 以上

さらなる優良化を期待して

岡山県環境文化部長 高橋 邦彰



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

社団法人岡山県産業廃棄物協会会員の皆様におかれましては、平素から本県の廃棄物行政に多大な御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、昨年3月11日に発生しました東日本大震災に対しましては、貴協会からは、多額の義援金をはじめ、東日本大震災支援県民会議への参加など、多大な御支援と御協力をいただきましたことを改めて感謝申し上げます。

さて、東日本大震災に伴う原子力発電所の事故の影響から、再生可能エネルギーへのシフトなど、今後のエネルギー供給の在り方が大きな問題となっていますが、一方で一人ひとりができる節電、省エネルギーなど、ライフスタイルの転換が以前にも増して叫ばれているところです。廃棄物の観点においても、事業者の排出抑制・リサイクルの推進が重要な課題であります。一人ひとりが排出抑制・リサイクルの意識を持つことも大切です。県では「岡山県統一ノーレジ袋デー」として、買い物の際にマイバッグを持参し、レジ袋を受け取らないようにする運動を展開しているところであり、県民自身が意識を改革することによって、大量消費型の社会から持続可能な循環型社会への転換を推進しているところです。

一方で、不適正処理の防止という課題についても引き続き対応していく必要があります。長年の懸案でありました津山市内に放置されていた自動車等破砕物について、協会員である美咲町の処理業者様の御協力のもと、平成18年度から撤去してまいりましたが、昨年10月に撤去が完了したところです。県としては、今後、こうした事案が生じないよう、適切な監視指導に努めてまいります。

廃棄物処理法の改正により優良産廃処理業者認定制度が創設され、昨年4月から実施されているところです。処理業者の皆様方におかれましては、遵法性、事業に係る透明性、環境配慮への取組み、電子マニフェストの導入及び財務体質の健全性という各基準を満足すべく御努力いただき、積極的に認定を取得していただきたいと考えており、産業廃棄物処理業界全体のさらなる優良化が図られますよう御期待申し上げます。

終わりに、貴協会と会員皆様方にとりまして、本年が良い年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

明日への一歩

岡山市環境局長 松田 隆之



平成24年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。皆様方には、平素より市政とりわけ廃棄物行政に対するご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

貴協会におかれましても、産業廃棄物の適正処理の推進、業界関係者の指導・育成、さらには関連する事業の一層の発展に尽力されているところであり、役員の方はもとより会員の皆様方の日々のご努力と熱意には深く敬意を表します。

昨年、平成23年は、我が国にとって、まさに未曾有ともいふべき災害に見舞われた年でありました。東北大震災については、未だその爪痕が残る中、復興へ向けた活動や原発事故への対応も継続されております。一日も早い復興と次世代の新たな発展につながってゆくような施策が着実に実行されるころ、本市としても出来る限りの支援を行ってゆきたいと考えております。

また、地震の他にも、大型台風の襲来や大雨による土砂崩れなどの大規模な自然災害が国内において発生し、海外においても、タイ王国での大洪水により、日本企業が多数被害を受けるなど、グローバルな環境で多くの自然災害が、市民の生活に影響を及ぼした一年でありました。

この様な災害をきっかけにして、これまで大きな信頼の上に成り立っていたこの国のシステムそのものが、大変な試練を受けているといっても決して誇張ではないでしょう。先人たちの残した様々な財産を大切にしながらも、次世代のために何を残すべきであるのか、または残すべきでないのかについて、あらためて判断を求められているような気がしてなりません。

自然災害そのものは避けることが出来ませんので、この脅威をいかにして軽減するのか、または人為的な原因による被害をいかに排除するのかといった検討が肝要なのであり、こうした問題に対する備えに油断は許されません。そのために、どういったことが出来るのか、また何をやらなければいけないのか、正に人智を尽くすという意味で国や地方の行政には多くの課題が投げかけられていると感じております。

この点、我々のような廃棄物の処理にたずさわるものにとっては、震災で生じたがれきをはじめとした、いわゆる災害ゴミや原発事故によって放射能に汚染されたゴミへの対応が、喫緊の課題となってきております。これらに対しては、業界と自治体とが一致団結して処理に関わることで、廃棄物の適正処理が一層進められるものと願っております。

最後になりましたが、今年こそは平穏な一年となることを念願しつつ、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

これからの産業廃棄物対策について

倉敷市環境リサイクル局 局長 物部 健二



平成24年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。また、昨年3月11日に発生した東日本大震災に被災された方々には心からお見舞い申し上げますと共に社団法人岡山県産業廃棄物協会会員の皆様方におかれましては、平素から本市の産業廃棄物行政に格別なる御支援、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

未曾有の震災から一年近くが経過し、徐々に復興の兆しが見え始めておりますが、一方で福島原発の問題など、まだまだ予断を許さない状況が続いております。昨年は倉敷市環境リサイクル局からも被災地に職員を派遣して廃棄物処理業務に従事させ、また、倉敷市民の方も多数ボランティアとして復興支援活動に参加いただきました。そして、これからの復興にあたり最も重要な課題の1つが災害廃棄物の処理ではないでしょうか。環境省の当初の推計では、災害廃棄物は宮城・岩手・福島の3県で合計2490万トンに及び、これは阪神大震災の1.7倍になります。この災害廃棄物を処理するために国も特措法等を制定するなどして対応していますが、廃棄物処理業界に期待される役割は今後ますます大きなものになっています。

さて、本市の産業廃棄物処理行政に目を向けますと、昨年は廃棄物処理法改正への対応に追われた一年であったと言えるかもしれません。改正廃棄物処理法が平成23年4月1日に施行されましたが、産業廃棄物の事業場外保管の事前届出制度の創設や産業廃棄物処理施設の定期検査及び維持管理情報公表の義務づけなど規制が強化される一方で、産業廃棄物収集運搬業の合理化や、また、優良産廃処理業者認定制度が施行されるなど、優良な産業廃棄物処理業者に対しては規制を緩和する措置もとられています。

なお、この優良産廃処理業者認定制度は、通常の許可基準よりも厳しい基準をクリアした優良な処理業者を、都道府県・政令市が審査して認定する制度ですが、認定された処理業者は、優良マークが記載された許可証が交付され、許可の有効期限が7年となります。産業廃棄物の適正処理を推進するためにも、本制度が今後さらに活用されることを期待しております。

昨年の大震災を契機として、循環型社会の形成がますます強く求められるようになってきました。廃棄物処理は循環型社会を根底から支えるものであり、貴協会会員の皆様の果たす役割は大変重要なものがございますので、引き続き皆様方の御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。

終わりにになりましたが、貴協会の今後ますますのご発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



産業廃棄物運搬車両の路上検査について

1 取組の概要

県外から搬入され最終処分される産業廃棄物の量は、県内から搬出される量を大幅に上回っています。こうした県外の排出事業者に対する定期的な監視指導は困難であることから、産業廃棄物の適正処理を確保するため、岡山県では「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則」(岡山県規則)により、県外からの搬入に係る事前協議制を定めていますが、この事前協議を経ることなく、県外から産業廃棄物が搬入されるケースが少なからずあります。

また、近年、当初から意図的・計画的に産業廃棄物を県内に搬入し、不適正処理を行う事例が、特に近畿・関西圏からと目される産業廃棄物を中心に生じています。

こうしたことから、県外から搬入される産業廃棄物の不法投棄を未然に防止し、産業廃棄物の適正処理を確保するため、平成15年度から年に数回、警察の協力を得て、岡山県内の主要幹線道路等において産業廃棄物運搬車両を停車させ、廃棄物の種類・性状、排出事業者、運搬先等を確認するとともに、産業廃棄物管理票（マニフェスト）と突合する路上検査を実施しています。

2 これまでの路上検査の概要

平成15年度の検査開始以来、ばらつきもありますが、これまで平均して毎年度10台前後の産業廃棄物運搬車両が指導を受ける状況が続いています。

違反事実の内容等により、指導票を交付し是正を求める文書指導と口頭指導とに分けていますが、指導の主な内容としては、許可証の写しやマニフェストの不携行、車両表示義務違反などが多くなっています。

3 平成23年度の検査結果について

○6月実施分（県内3か所）

	岡山県
停車指示車両数	30台
うち産廃関係車両	11台
うち指導台数	6台

○10月実施分（県内5か所 岡山市・倉敷市と合同実施）

	岡山県	岡山市	倉敷市	合計
停車指示車両数	39台	12台	8台	59台
うち産廃関係車両	26台	5台	6台	37台
うち指導台数	5台	5台	0台	10台

4 今後について

検査開始以来、極めて悪質な違反事実の確認はないものの、必要書類の不携行等で指導を受ける車両が後を絶たず、また、今年度の検査では県外からの搬入で、事前協議した以外の品目を搬入しようとした運搬車両がいたため、そのまま岡山県外へ持ち帰らせるよう指導した事例もありました。

こうしたことから、岡山県では、引き続き年に数回、路上検査を実施し、産業廃棄物の適正処理の確保を図っていく必要があると考えています。





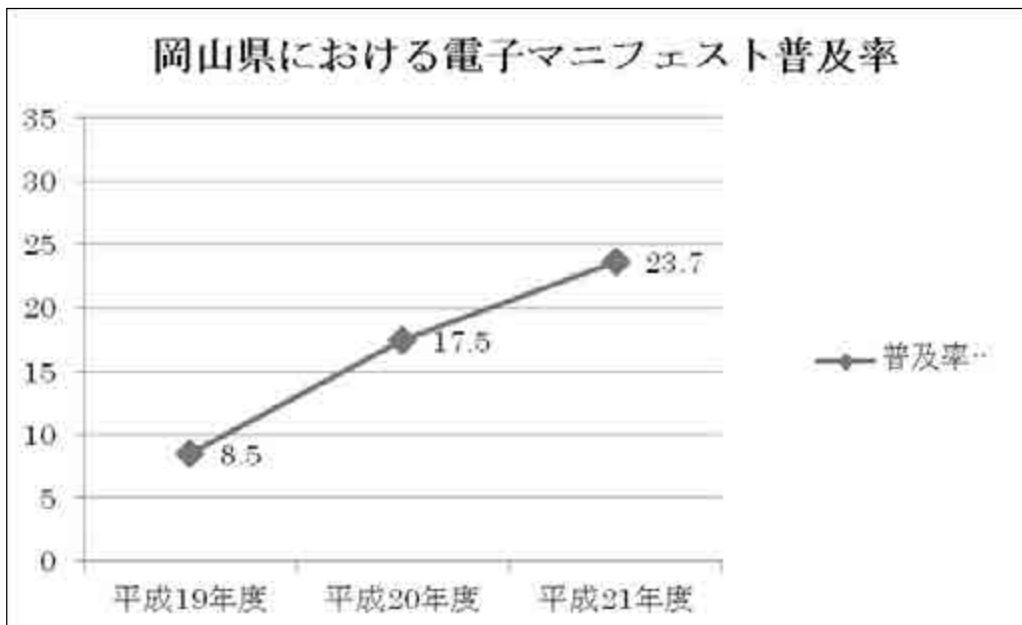
電子マニフェストシステムへの 加入について

電子マニフェスト制度は、マニフェスト情報を電子化して、排出事業者、収集運搬業者、処分業者の3者が、情報処理センター（財団法人日本産業廃棄物処理振興センター）を介したネットワークでやりとりする仕組みです。

電子マニフェストを利用するには、排出事業者と委託先の収集運搬業者、処分業者の3者が情報処理センターのネットワークシステムに加入する必要がありますが、電子マニフェストのメリットである「情報の共有」と「情報伝達の効率化」により〈事務処理の効率化〉、〈法令の遵守〉、〈データの透明性〉が推進されます。

岡山県では、電子マニフェストの普及率は徐々に伸びてきており、平成21年度で23.7%となっていますが、平成24年度に60%とする目標を掲げ、その普及拡大を図ることとしています。

平成23年4月に施行された「優良産廃処理業者認定制度」では、電子マニフェストシステムへの加入が1つの条件となっています。まだご加入いただいていない社におかれましては、是非、早期にご検討ください。



お問い合わせ先

財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

サポートセンター TEL：03-5811-8296

(月～金曜日 午前9時～午後5時)

ホームページ <http://www.jwnet.or.jp>



リサイクル届けの別表様式が

平成24年1月1日から変更になります。

解体工事等に関する皆様へ

再生砕石への石綿（アスベスト）含有産業廃棄物の混入防止等の徹底について

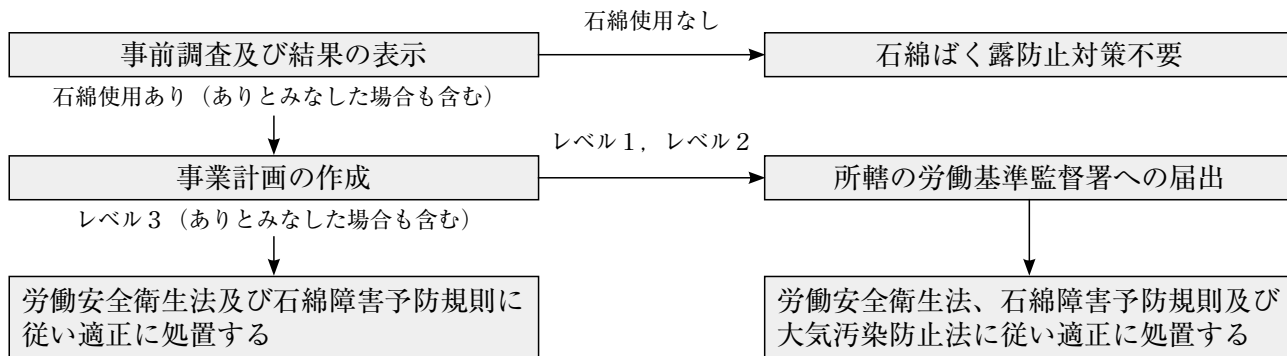
日頃から、建設リサイクル法について、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

平成22年に関東地方において、石綿含有産業廃棄物（スレート波板、スレートボード、スレート瓦等）が混入した再生砕石を使用している実態があったことから、岡山県内の各特定行政庁では、その未然防止を図るため、平成24年1月1日より建設リサイクル法に基づく届出書の別表様式を一部変更し、石綿等有害物質の有無及び石綿の飛散性又は、非飛散性を選択記入する内容に改正させていただきます。

ついては、石綿が使用されている可能性のある建築物等の解体・修繕・模様替え等を行う場合は、適正に解体処分が行われるよう届出書の別表様式により、情報把握及び注意喚起をさせていただきますので、下記の事項に留意され、分別解体の更なる徹底についてご理解とご協力をお願いします。

記

- 1 対象工事受注者（請負者）は、特定建設資材に付着した石綿含有産業廃棄物等の有無の調査を行い、分別解体等の計画を作成する必要があります。さらに、特定建設資材に付着した石綿含有産業廃棄物等がある場合は、工事着手前に付着物を除去し、特定建設資材に石綿含有産業廃棄物等が混入することがないように、分別解体等の適正な実施の確保を行う義務があります。（建設リサイクル法第9条）
- 2 対象工事受注者（請負者）は、事前に当該建築物等に石綿等の使用の有無を目視、設計図書等により調査し、その結果を記録しておく義務があります。（石綿障害予防規則第3条）



※レベル1：吹き付け石綿（発じん性が著しく高い）
 レベル2：耐火被覆板（ケイカル板2種）、断熱材、保温材等（発じん性が高い）
 レベル3：スレート、石綿含有岩綿吸音板、P タイル、ケイカル板1種、サイジング、石綿セメント板等（発じん性が比較的低い）

3 建築物の解体工事等における石綿（アスベスト）の参考資料

- 「建築物の解体等に伴う有害物質等の適切な取扱い」[PDF]
 国土交通省のリサイクルホームページ：<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/pdf/fukusanbutsu/asbest/yuugai.pdf>
- 「目で見るアスベスト建材」[PDF]
 国土交通省のリサイクルホームページ：http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/01/010425_3/01.pdf
- 石綿（アスベスト）含有建材データベースについて
 国土交通省のリサイクルホームページ：http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/07/071213_.html

○ 改正内容 建設リサイクル法に基づく届出書の別表（1, 2, 3）様式変更

別表1 抜粋（追加部分：ゴシック）

建築物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	残存物品	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> フロン類使用機器→1をチェック <input type="checkbox"/> PCB使用機器→2をチェック <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他【 】→6に記入	<input type="checkbox"/> フロン回収・破壊法に従い適正に処置する。 <input type="checkbox"/> 廃棄物処理法及びPCB特別措置法に従い適正に処置する。 <input type="checkbox"/> 石綿撤去済み <input type="checkbox"/> 石綿撤去完了予定日(月 日) <input type="checkbox"/> 労働安全衛生法及び石綿障害予防規則に従い適正に処置する。 <small>※石綿含有不明建材の場合は、事前調査で石綿の有無を明らかにするか、みなし石綿含有建材として処置する。</small>
	特定建設資材への付着物	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 飛散性石綿(石綿吹付け、石綿保温材等)→3又は4をチェック【 】 <input type="checkbox"/> 非飛散性石綿※石綿含有不明建材を含む(ビニール床タイル等)→3、4又は5をチェック【 】 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他【 】→6に記入	<input type="checkbox"/> 石綿撤去完了予定日(月 日) <input type="checkbox"/> 労働安全衛生法及び石綿障害予防規則に従い適正に処置する。 <small>※石綿含有不明建材の場合は、事前調査で石綿の有無を明らかにするか、みなし石綿含有建材として処置する。</small>
	その他(特定建設資材に付着していない、解体時に発生する有害物質)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 飛散性石綿(石綿吹付け、石綿保温材等)→3又は4をチェック【 】 <input type="checkbox"/> 非飛散性石綿※石綿含有不明建材を含む(スレート波板、スレートボード、スレート瓦、サイディング、ケイカル板等)→3、4又は5をチェック【 】 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他【 】→6に記入	<input type="checkbox"/> その他

○ 対象区域 県内全域

○ 様式提供 <http://www.pref.okayama.jp/doboku/gikan/recycle/youshiki.htm>

○ 別表1 記入例

記載例 茶木造の場合
 ・フロン類使用機器(エアコン)有りの場合
 ・特定建設資材への付着物有り(石綿吹付け、PCB含有シーリング)の場合

分別解体等の計画等

別)住宅地
 ・敷地
 ・河川敷
 ・撤出する前車道路の幅員
 ・交通量の多少 など

別)道路使用許可
 ・通行止め
 ・掘出経路確保のため鉄板敷きを準備
 ・2トトラックにて搬出 など

別)飛散性石綿がある場合は、事前に搬出する

別)壊滅併用の場合には、その理由が必要

別)瓦等が存在しない場合は、「無」
 ・壊滅併用の場合には、その理由が必要(作業に危険が伴う場合など)

その他の場合は、その理由が必要

不可の場合は、その理由が必要(石炭ボートと木材が密着しているためなど)

全ての資材について記載する必要がある(下段の特定建設資材廃棄物の発生見込み量以上)

数量については、四捨五入による整数表示

【欄には、該当箇所について()に「1」欄には具体的な品目を記入すること。】

沖縄の3施設を訪問

平成23年度優良施設視察研修会（宿泊）に参加して

小野建設株式会社 小野 勝己



11月24日（木）岡山空港集合、11月26日（土）岡山空港解散で平成23年度優良施設研修会（沖縄）に参加しました。参加人数は、岡本会長をはじめ事務局、会員各社より33名の参加者により行われました。今回の視察研修会は沖縄である為、多少観光気分で参加させていただきましたが、到着後、早々うるま市の2箇所の施設研修をしました。まず最初に、(株)バイオマス再資源化センターにて、施設の説明、及び見学をさせていただきました。ここではおもに建設廃材（木類）と、沖縄特有のさとうきびの絞り粕を原料としてペレットを（60t～70t/日）生産しているそうです。主な販売先として沖縄県内3箇所の石炭火力発電所に供給しているので、販売ルートが確立され、安定的な運営がなされていると思われます。ただ、工場内においては、チップから木質粉末にする際に発生するとおもわれる粉塵が、大量に発生していたので、その点が気懸かりでした。

次に、同じ工業団地内の拓南商事（株）に伺いました。ここでは、2班に別れて説明、及び見

学を致しました。ここは約58,000㎡の敷地で、鉄スクラップ、非鉄スクラップ、使用済自動車の再資源化、家電リサイクルを行っています。鉄スクラップについては加工処理後、拓南製鉄へ出荷、非鉄スクラップについては分別作業後、本土精錬メーカーへ出荷、使用済自動車については、解体選別後のシュレッダーダストについてもこれまで埋立処分していたが、シュレッダーダスト破碎選別設備により再選別を行い、繊維系ダストと、プラスチック系ダストを固めて、代替火炭材として拓

南製鉄へ出荷し、ゴミゼロを目指していて、2006年度ビジネス大賞オンリーワン部門を受賞したそうです。





初日は、沖縄到着後、視察研修のみで予定より1時間遅れでホテルに到着、その後楽しみに

していた＜料亭那覇＞にて、和流会席料理と琉球舞踊で参加会員同士の親睦が図られました。その後素直にホテルに帰る人、市場にお土産を買いに行く人、2次会と称して那覇の夜に消えた人と、みんなそれぞれ那覇の夜を楽しんだ様です。

2日目は、八重瀬町の（株）トリムのリサイクル事業場を見学させて頂きました。ここではビン類及び建廃ガラス類からスーパーソル（軽石の様な物）を生産、販売しています。スーパーソルは、機械の調整により比重が変えられる特徴を持っています。利用方法として土木工事で、軽量であるため軟弱地盤上の盛土材、また、透水性が良いので構造物の裏込材として使用されている様です。その他の利用方法として、沖縄では水不足が慢性

化しているためスーパーソルにより地下浸透型雨水活用システムに利用しており、このシステムでは庭や花壇、菜園などの地下に雨水を貯水する事が出来、水やり等に水道水を使用する事なく雨水を有効活用する事が出来るそうです。

ここで、今回の優良施設研修会は終了し残りの時間を利用して、海洋博記念公園 美ら海水族館、世界遺産・守礼の門、首里城、識名園、を観光し沖縄を満喫させて頂きました。最後に岡本会長をはじめ参加会員各社と事務局のご協力により、2泊3日の有意義で楽しかった沖縄優良施設研修会が無事終了したことを感謝いたします。



平成23年度第2回中国地域協議会開催

公益社団法人全国産業廃棄物連合会の第2回中国地域協議会正副会長・事務局
長等会議が開催されました。

- 1 日 時 平成23年10月26日（水） 午後3時～午後5時40分
- 2 場 所 岩国国際観光ホテル 岩国市岩国1丁目1-7
- 3 出席者
連合会：仁井正夫専務理事、川本義勝理事
連合会政治連盟：國中賢吉理事長
岡山県：岡本靖磨呂会長、横田一夫副会長、大塚雅司副会長、藏本忠男顧問、
稲村義博専務理事兼事務局長
広島県：木吉榮副会長、長瀬充良副会長、前田忠顯副会長、三谷哲也副会長、
高橋俊宏特任理事、山本誠専務理事
山口県：榎本隆博副会長、児嶋高英専務理事兼事務局長、阿部吉明事務局次長
島根県：福代明正会長、尾崎正人専務理事
鳥取県：越生昭徳会長、伊藤源蔵専務理事兼事務局長
- 4 議 事

中国地域協議会正副会長・事務局長会議の開催にあたり、幹事県の山口県協会の吉本勝利会長が
体調不良で欠席のため島根県協会の福代明正会長が開会の挨拶、続いて全産連の仁井専務理事が来
賓として挨拶をされた。

山口県協会の吉本会長が欠席のため島根県協会の福代会長が議長を務めることとなり、議事が進
行された。

(1) 議 題

- ① 東日本大震災に伴う災害廃棄物の処理支援について（協議会事務局）
- ② 公益法人制度改革への取り組みについて（岡山県）
- ③ 優良産廃処理業者の育成について（山口県）
- ④ マニフェスト運用について（山口県）
- ⑤ 緑十字賞等候補の推薦について（協議会事務局）

(2) 継続議題、報告事項等

- ① CSR2プロジェクトへの取り組みについて
- ② 各県協会における政治連盟設置について
- ③ 中国及び四国地域協議会合同事務局責任者会議の開催について
- ④ 中国地域協議会事務局職員研修会開催について

会議の概要は以上のとおりですが、東日本大震災に伴う災害
廃棄物の処理支援について全産連の仁井専務理事から放射性物
質に汚染された廃棄物処理や汚染された土壌等の除染につい
て、新たな体制も整備し進めることなどの説明を受けました。

今、多くの協会で認可等に向けて作業が行われている公益法
人制度改革への取り組みについては各県協会から説明があり、
岡山県協会は平成24年4月認可に向け鋭意作業中である旨説明
を行いました。

また、その他の議題、報告事項等について、各県協会の活動
状況等活発な意見交換が行われ、有意義な会議となりました。



見学者にも配慮した 安心、安全でオープンな処理施設

平成23年度県内優良施設視察研修会へ参加して

山陽美業株式会社 須知 宏 治
エコシステム山陽株式会社 三戸 篤 史

平成23年10月28日（金）、平成23年度優良施設視察研修会がすばらしい秋晴れの中で行われました。

第一の視察先は岡山県久米郡美咲町に位置し、平成23年8月19日に岡山県から新焼却炉として微量PCB廃棄物に係る処理業の認可を新たに取得したエコシステム山陽株式会社です。日本国内で微量PCB廃棄物を処理できる施設としては国内で

5件目であり国内初の連続加熱炉（24時間）で、固定床炉による処理に比べ昇降温のロスを大幅に減らし、48t/日という高い処理能力と低コスト

を実現されています。

施設内のあらゆる機器が整備されており、機器の詳細は不明でしたがテレビモニターでの排気ガスの基準値との測定や無人リフトによる作業等は一見してお客様へ対しても安心・安全でオープンな処理施設だと認識できました。太陽光パネルの設置や立体倉庫の整備など様々な工夫を凝らした施設を見学でき環境に配慮している会社の取組みは今後の弊社にも活用していくことができるのではないかと感じました。

今回の施設見学会での集合場所となっていた林原モータープールが今年の平成23年12月末をもって閉鎖される告知看板を目の当たりにし、今回の見学をさせて頂いたエコシステム山陽を照らし合わせることに



り時代の流れを感じさせられました。

引き続き、2つ目の視察地である(株)オガワエコノス 岡山工場(岡山県勝田郡勝央町)を訪問しました。オガワエコノスでは、廃棄物として発生する「紙・木くず」と「廃プラスチック類・繊維くず」から、石炭代替となるRPF固形燃料の製造を行っている工場です。排出元から集められた廃棄物は、分別され、紙くず・木くずは、専用破砕機にて30mm程度に破砕、また廃プラ・繊維くずも同様に専用破砕機で80mm程度に破砕し、それを40:60で混合し、加熱成型し、直径35mmで長さ50~100mm程度のRPFが製造されます。月間の生産量は、700t~800t/月であり、パルプ工

場・製鉄所等に石炭代替燃料として出荷している。製造されたRPFは、石炭と同等の熱量6,000~7,000kcal/kgを有しています。また、石炭単価のよりかなり格安な販売価格なため、貴重なエネルギー源となっています。

エネルギー資源に乏しく、エネルギーの供給について根本的な見直しを迫られている日本では、このような新エネルギーの開発と供給は、今後より一層重要度を増してくることを再認識するとともに、省エネ・再資源化について、もっと深く考え、確実に実行していく責任があると強く感じました。



製造されたRPF



説明を受けている風景

「追跡！改正廃棄物処理法の現状」テーマに

—第10回産業廃棄物と環境を考える全国大会に参加して—

タマタイ産業株式会社 大塚 雅司

平成23年11月4日（金）、京都において、「第10回産業廃棄物と環境を考える全国大会」が開催され、役員等4名で出席して参りました。

プログラムは以下の通りです。

-
- 13：30～14：00 開会
- 14：00～14：30 環境大臣表彰
- 14：30～15：30 基調講演
 テーマ「産業廃棄物の行政の現状と今後の課題」
 講師：廣木 雅史氏（環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課長）
- 15：40～17：30 パネル討論会
 テーマ「追跡！改正廃棄物処理法の現状（建設系廃棄を中心に）」
 コーディネーター：仁井 正夫氏（公益社団法人全国産業廃棄物連合会専務理事）
 パネリスト：廣木 雅史氏（環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課長）
 畠中 秀人氏（国土交通省総合政策局公共事業企画調整課環境・リサイクル企画室長）
 越智 広志氏（京都府文化環境循環型社会推進課長）
 小鯛 雄一氏（株式会社竹中工務店土壌環境本部課長代理）
 文 盛厚氏（社団法人京都府産業廃棄物協会会長）
-

12：51分着の新幹線で京都駅に着き、会場のホテルグランヴィア京都は広くて、迷子になりそうになりながら、なんとか時間までに会場に到着しました。会場は全国から集まった人々でいっぱいであふれていました。

開会して、最初に環境大臣表彰として、北は北海道から南は鹿児島まで、全国から19名の方々が「循環型社会形成推進功



主催者あいさつ



表彰



パネル討論会

「労働者等環境大臣表彰」として表彰されました。

基調講演、パネル討論会では、東日本大震災で大量に発生した災害廃棄物の処理、それに付随する放射能問題、4月に施行された改正廃棄物処理法への対応、中でも特に建設系廃棄物の排出者責任に焦点を当てて、環境省、国土交通省、開催地の京都府の行政関係者、排出事業者、処理業者が参加して活発な意見交換が行われました。今回の法改正で建設廃棄物の排出者責任については、元請けに一元化されることになりましたが、この運用状況や業界に与える影響について、さまざまな意見がだされました。

閉会して外に出てみると、もう暗くなっていました。今年は暖かくて、まだまだ紅葉には早いのですが、連休前の京都駅のすごい人混みの中、帰路に着きました。

中央労働災害防止協会緑十字賞の 受賞について

平成23年10月12日に東京都で開催されました全国産業安全衛生大会総合集会において、長年にわたり産業安全及び労働衛生の推進に尽力されその向上に多大な貢献が認められた岡本靖磨呂氏（当協会会長）が中央労働災害防止協会会長から緑十字賞を受賞されました。

この受賞は当協会にとっても名誉であり、この榮譽に浴された岡本氏は、ますます産業安全及び労働衛生の推進に励んでいくとの抱負を述べられました。



東備支部環境クリーン作戦

アルアル・モリモリ回収作戦

平成23年11月8日（火）午前9時より赤磐市東軽部にて不法投棄物回収、名づけて「アルアル・モリモリ回収作戦」を実施しました。

撤去回収地区は粗大ごみの墓場と化しておりタイヤ、冷蔵庫、ストーブが重なり合い、まるで山地の漂流状態でそれこそアルアル・モリモリでした。



そこで東備支部会員、行政関係機関の方々が自称タイガーマスクとなり回収作業を行いました。

山合いの傾斜地で作業は困難を極めました、ある大型トラックのタイヤには「根っこがはえとるでー」冷蔵庫などは「中にはビール、ジュースが入りまだ飲めるなあ」などと不法投棄者の顔を想像しながら？回収しました。

このような光景を目の当たりにして痛感したのは子供、孫、代々に渡り「ゴミと言う名の負の遺産を残すわけにはいかんでえ！」と言う気持ちになったのは私だけでなかったのでは？・・・

世間ではごみの



分別、3・5Rと叫ばれてる中、まだ心無い人たちが後を絶ちません、行政機関と連携し可能な限りゴミと言う名の負の遺産を撲滅したいと考えながら不法投棄再発防止用、啓発看板を設置してアルアル・モリモリ回収作戦を終えました。

ご多用にもかかわらずご協力いただきました皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも『不法投棄みどりの山が海が泣く！』を合い言葉に活動を続けます。

参加者：岡山県備前県民局環境課職員

岡山県備前県民局東備事務所環境課職員
赤磐市環境課職員

(社)岡山県産業廃棄物協会事務局職員

(社)岡山県産業廃棄物協会東備支部会員

(五十音順)

石田商店・エスク岡山(株)・カワダ建設(株)・金平鉄鋼(株)・キョクトウ(有)・コーワン(株)・(株)桜商事運輸・(株)山陽精油所・昭和開発(株)・(有)豊田建運・日生運輸(株)・横山商事(株)・(有)和気環境サービス

備北支部クリーン作戦

当日は曇りで肌寒い天候でした。

今回のクリーン作戦は、新見市環境保全協会、新見市、新見市環境衛生協議会、備中県民局の人たちが参加しての作業で協会員併せて60名での作業となりました。

今回は備北支部クリーン作戦用のジャンパーを新調しての参加でした。

艶やかな青色ジャンパーが協会員の参加をさり気なくアピールすることも出来ました。

作業箇所は、国道180号明地トンネル新見側待避所から千屋温泉付近

- ・ 国道180号菅生別所入口付近から朝間入口
- ・ 国道182号九の坂トンネル新見側待避所から上市まで
- ・ 県道哲多下神代線下谷から健康の森学園付近

の4箇所で各クリーン作戦実施場所は離れており各場所にそれぞれわかれ同時に行われました。

九の坂国道沿いのクリーン作戦現場では全員で道沿いのゴミを拾い、ゴミの内容は空き缶、コンビニ弁当などでした。

前は2010年9月30日に同じ場所で行いましたが前回に比べてゴミの量はかなり減っておりクリーン作戦の効果があった模様でした。

今回のクリーン作戦現場は県道から3メートルに渡る斜面でゴミを手作業でひとつひとつ丁寧に拾い上げました。

参加者の皆さんの手際のよい作業のためあっという間にゴミまみれの場所はきれいになりました。

今回は地域の人々の協力のもと事故もなく無事クリーン作戦が終了することができましたことに改めて感謝申し上げます。



井笠
支部

第14回井笠地域環境クリーン作戦実施

- ・日 時 平成23年11月16日（水）
- ・実施場所 井原市高屋・美星 2箇所
- ・参加人数 55名（協会員25業者36名、外部協力者19名）
- ・参加車両 19台（2tダンプ、4tダンプ、2tバックカー、2tフック、8tダンプ他）
- ・収集廃棄物
 可燃ゴミ（粗大ゴミ込）：井原クリーンセンター
 処理方法 不燃ごみ（粗大ゴミ込）：井原リサイクルセンター
 タイヤ・家電・その他（がれき類等）：井原クリーンセンター下倉庫
- ・立看板の設置 作業終了後、廃棄物が多かった箇所に再発防止啓発のため立看板を設置



今年も昨年同様、井笠地域環境クリーン作戦を実地しました。

地域住民の方や県・市職員、も参加し 高屋地域美星地域と別れ、山の斜面に捨てられた、冷蔵庫洗濯機等の家電製品や廃タイヤ、金属類その他布団などの大きなゴミや空き瓶、ペットボトルなどを回収し、分別後に収集車やトラックへ積み込みました。

この日、集められたゴミの量は13.70トンでした。不法投棄がなくなり、こうした活動が、不要になる日まで、共に頑張りたいと思います。

最後に、お忙しい中ご参加くださった大勢の皆さん、ご協力ありがとうございました。

第18回倉敷地域環境クリーン作戦



平成23年11月22日（火）午前8：30倉敷市玉島穂井田陶地区の不法投棄場所付近に集合（倉敷支部会員41名と環境衛生協議会会員11名）車輛4t車2台、2t車3台で実施しました。

はじめに、参加者の点呼を行い、支部長室山宣英様より参加者の皆様にクリーン作戦のご協力に対してお礼の御挨拶。協会本部からは会長

岡本靖磨呂様も激励に駆けつけてくださいました。

作業場所は倉敷市道沿い（倉敷市玉島穂井田陶地区）山林急斜面に不法投棄された可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、がれき類、タイヤ等を小さいものは土のう袋に入れロープで引き揚げ、また大きいものについては直接ロープでくくり引き揚げる作業。

引き揚げた廃棄物は環境衛生協議会の方々に分別していただき、資源化できるものはリサイクルに、できないものはそれぞれに処分しました。

今回は、竹やぶへ不法投棄されたゴミを回収中冬眠していた**マムシ**を発見!! 土のう袋に入れ地元の方が**焼酎付**にすると行って持ち帰りました。幸いにも事故が無かったので一安心。

収集した廃棄物は（可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ・がれき類・廃家電・タイヤ等）で4t車2台と2t車3台で約5tのゴミを処分した後、廃棄物の多かった箇所に再発防止啓発のための立て看板を設置しました。

もともとのクリーン作戦は倉敷支部の岡本会長様の提案でスタート、今では各支部に分かれて実施されており岡山県にも認知されるようになりました。今後も倉敷支部としてもクリーン作戦は続けていきたいと思っております。



津山

支部

第17回津山地域環境クリーン作戦

不法投棄の悲しさに触れた日

1. 実施日時：平成23年11月22日
9：00～14：30
2. 実施場所：鏡野町越畑地区
3. 回収量：廃家電・廃タイヤ 10t
不燃ごみ・可燃ごみ 5.4t

冬の足音も近づきつつある11月22日の午前8時30分、加茂町スポーツセンター前に岡山県産業廃棄物協会津山支部員の面々が元気な姿で集まりました。総勢20名。さらには美作県民局職員さん5名も白い息を吐きながら、クリーン作戦遂行に向け気合十分です。



横田支部長の挨拶とラジオ体操の後、県道・加茂奥津線沿いを2t車2台に4t車3台、さらには2台のユニック車が威風堂々と進んでいきます。作業場所の鏡野町越畑地区に到着後、鏡野町職員さん10名と地元の方5名と合流しました。大きく2箇所に分かれての作業となりましたが、私が降りた場所は立つのも難しい急斜面でした。頂上からロープを垂らし、それをつたって下ります。斜面はゴミで埋め尽くされており、触った場所にゴミがあるといった按配でした。

斜面にある廃ガラス・廃プラスチック・小型家電は手で直接フレコンに集めます。県民局の職員さんは急斜面を一気に降下し、谷底の廃タイヤや大型家電をフレコンに詰めて下さいました。それらのフレコンにロープを結び、ユニック車のクレー



ンで引き上げます。目の前で重いフレコンが登る様を見て、改めて重機の力に感動を覚えました。

途中、小一時間の昼休憩にお弁当を食べながら談笑し、最終的には午後2時30分に作業終了しました。廃家電・廃タイヤを10t、不燃ごみ・可燃ごみを5.4t。計15.4tの不法投棄ごみを回収し、4箇所不法投棄禁止の看板を立てました。全員が力を出し切って作業を行い、気温の上がない晩秋の日にもかかわらず、皆良い汗をかいていました。

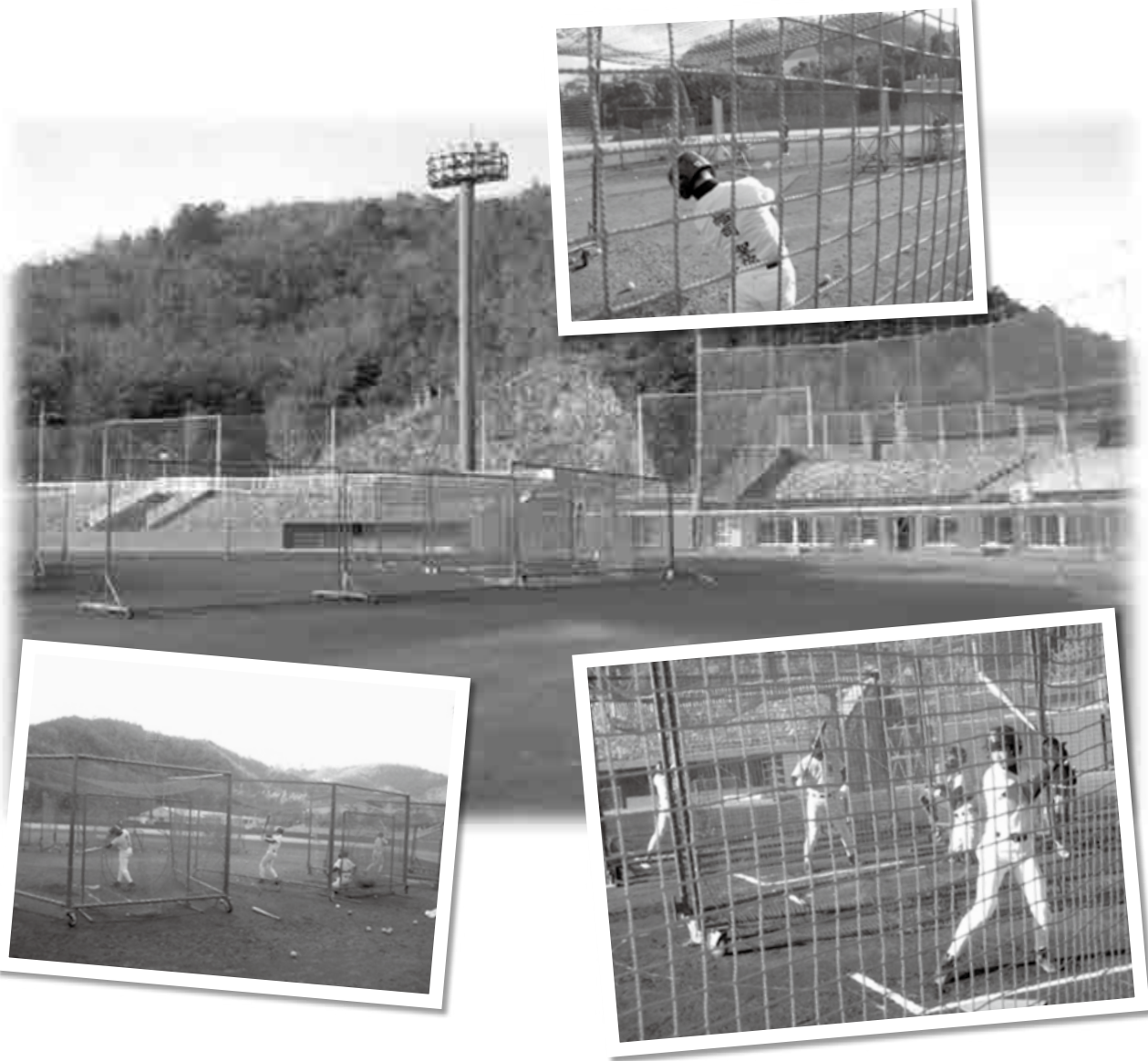
回収したごみの中には、子どものおもちゃや女性の髪飾りなども含まれていました。これらの物が実際に使われていたときの、楽しい家族の顔が想像されます。しかし、折角の楽しい思い出も、不法投棄で終わらせてしまっただけでは、豊かなものになりません。過ごしてきた時間や物への感謝の気持ちをおぼえておくためにも、モラルを守り、決して不法投棄などをしないようにしてほしい。そんな気持ちになった一日でした。

ご参加下さった皆さん、ありがとうございました。



過去を振り返り、これからも!

倉敷市環境保全協会 八巻 勝紀



今回、協会の方から依頼があり、趣味をとのことだったのですが、特にないので、小学校3年から続けている野球のことを書いてみます。一番、思い出にのこっているのが、高校野球、倉敷工業高校での辛く、厳しい思い出ばかり……………。

今、考えれば「よくやったなあ」と思います。けど、その経験が今の私を作り人間として大きく成長させてくれました。

今でも高校球児が一生懸命する姿を見ると感動します。今は、高校野球のコーチとして土日に指導・手伝いをしています。高校球児に元気をもらい、仕事への活力になっています。



マレーシア 原生林帯をゆく

倉敷芸術科学大学
河邊誠一郎

“困難な山：マウントタハン 2187m”

以前、マレーシアから研究生を受け入れたことがあった。都会育ちで敬虔なイスラム教徒の彼は、全てに亘り繊細で戒律にも忠実であった。

何が出てくるか分からない異国のジャングル（単に草木が生い茂り、荒れているだけ）に踏み込むなんてとんでもない。女性が裸で入ってくるかもしれない湯原温泉露天風呂なんてとんでもない。スープ、食材に豚肉が使われてはいないだろうか？一事が万事そのような調子で、いつもからかいの的にもなっていた。

その彼がある時、マレーシアには世界に誇る大原生林があって、その奥には“困難な山”と称される“マウントタハン”というすごい山がある。そこには象やトラ、大蛇やオオトカゲ、毒蛇やサソリ、ムカデやヒルやダニに至るまで、あらゆる危険な生物がうじゃうじゃいるんだ、と半ば挑戦するように話してくれた。

インドやベトナム、ミャンマーの奥地ならともかく、また同じマレーシアでもボルネオであれば納得もできるが、それは半島部の山中にあるという。早速調べてみると、マレーシアの最高峰が本当にそこにあった。しかもそこに行くためには、起点となる街から、ボートで何時間も川を遡らなければ行けない。自然大好き人間にとっては非常に興味の魅かれる自然の宝庫らしい。これはぜひ行かねばならない！とってしまった。

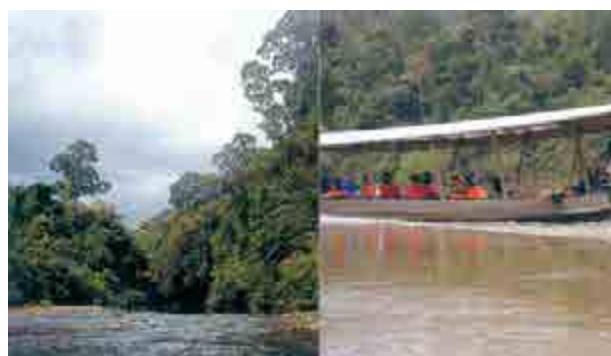


50mをこえるフタバガキの巨木が林立する原生林のその奥に“困難な山：マウントタハン”2187mがある

頼みの西山は当時この方面には不案内。仕方がないので、様々な資料を読み漁り、関係のありそうな人たちから情報を得て、何とかなるだろうと思える探索計画が出来上がり始めていた。

期待の若者と

ちょうどそのころ、昆虫採集に熱が入り始めたばかりの地元若者（高校2年）が我が家に出入りしていて、この話を聴くや“絶対に行きたい”と願望されてしまった。手足纏になりそうな気がしたが、将来の昆虫界の星になってくれるかもしれないとの淡い期待もあった（実際にこれを契機に九大大学院にまで進み、昆虫の博士になった）。しかし3週間以上の長旅である。年若い若者との長期2人旅は不安が残る。悩んでいると、西山が、仕事（昆虫の仕入れと、指導、調査）を前倒しして途中から同行してくれるとの協力が得られることになった。



マレー半島最深部を目指して、ボートは進む

皆まとめ

若者・大島君との連日の打ち合わせ・作戦会議をそばで聞いていた我が家の自然大好きな娘たちには、とんでもなく楽しそうに聞こえたらしく、二人だけで行くのはズルーイ！と言い始め、おまけに家内までもがそれに同調。後半の西山企画ツアー（カムロンハイランド探索、イポーからペナン島をめぐるグルメ旅・・・）からは、皆まとめて面倒を見ることになってしまった。



ジャングルの入口にタマンヌガラリゾートがあった

車輪が出ない？

二人の乗った機は、かれこれ30分以上もクアラルンプール空港上空を旋回しながら待ちぼうけとなった。翼を左右に振り、急旋回を繰り返し、悪戦苦闘をしたらしかったが（遅延の理由はその時は知らなかった）、なんとか車輪が出て、無事着陸できたときは全員ホットしたものだった。

首都クアラルンプールで1泊した後、目指すマレー半島の最深部タマンヌガラの大ジャングル地帯へと向かった。少ない情報では、世界最古級の大原生林が広がっており、50メートルを超えるフタバガキ（ラワン）の巨木が林立し、象をはじ

めとする大型動物、250種もの鳥類が生息し、我々の目指す昆虫類・蝶も乱舞しているらしい。そしてそこは国立公園として管理もされていて、宿泊施設もあるらしい。



樹上30mに張り巡らせたキャノピーウォークを楽しむ
西欧の若者達

我々が乗った大型高級バスはいきなりの急坂を喘ぎ喘ぎ登ってゆく。

ルックイーストを合言葉に、マハティール大統領が日本を手本に民主化、近代化を強力に推し進めてきただけあって、東南アジア諸国の中では最も近代化が進んでいる。

周辺諸国と比較しても、民政・経済は安定し、民衆の暮らしもそれなりの豊かさが見受けられる（当時、中国の近代化・経済発展はまだまだ始まったばかり）。

マレーシアは、熱帯地帯にあるにもかかわらず、大陸から突き出した半島地形が幸いして、気候風土には恵まれている。豊富な野菜、果物、魚介類があり、食べ物には不自由しない活気あふれる生活がそこにはあった。

地図で見ると、首都クアラルンプールから、半島中心部のタマンヌガラまではすぐのように見える。しかし面積にして日本の9割ほどもあるマレーシアの中心部横断山脈までの道のりは遠かった。

バスに揺られること5～6時間、起点となる山

間の街：クアラテンベリンへやっと辿り着いた。次は細長い小型ボートに乗ってテンベリング川を約4時間ほどもかけて遡り、目指す原生ジャングルの地へと向かう長旅である。

十人も乗れば一杯のスリムな小さいボートには屋根もついていて、なかなか快適。滑るように流れを遡って行く。同乗は、秘境大好き・熱帯ジャングルにあこがれる好奇心旺盛な西洋の陽気な若者たち。日本人は我々だけである。

両岸に広がる原生林、黄土色に濁った流れはどこまでも果てしなく続く。倒木の枝には、鮮やかなルリ色のカワセミが止まっている。中洲の砂地には、一メートルを超すミズオオトカゲが日向ぼっこをし、水牛の群れが気持ち良さそうに水浴びをしている。サルの一団が枝で遊んでいて、いつまでも見飽きることはなかった。

予想に反して

そろそろボートの旅も満喫しはじめたころ、目指すタマンヌガラ国立公園の入口に到着した。なんと、そこには立派な宿泊施設、管理棟、研修セ



美女の側には近づけなかった！



昼なお暗いジャングルに行く

ンターが整備され、レストラン、売店までもあった。この予想外の立派な施設は、未知の熱帯ジャングルへ踏み込もうとする我々の意気込み、氣勢を多少削ぐものではあったが、一方で多少の安堵もあった。



珍蝶発見

これらの豪華施設は、周りの自然と違和感なく配置され、英字の案内板や動物観察小屋、トレッキング路も整備されていて、安心して歩けそうだった。公園外には地元民の集落があり、安い食堂のある対岸へは、気軽にボートで運んでくれるという。大熱帯ジャングルの中であって、この1画だけは別天地。好奇心旺盛な西洋人で一杯だった（当時、日本人には全く知られていない秘境であった）。

断念！マウントタハン登頂

翌朝、相談に赴いた管理センターで、想定以上



万年筆ヤスデ、ダンゴムシ、ツムギアリ（巣）、毒？蛇も出現

の厳しい行程となることを知らされてしまった。2-3人のガイドを雇い、登山隊を組んで5-6日は必要という。それも、必ず行きつくととは限らない。我々の主目的は、熱帯ジャングルを巡り、自然と触れ合い、昆虫と触れ合う（調査・採集する）ことに尽きる。マウントタハン登頂も魅力的だが、時間が少なすぎる。仕方なくここは断念し、未体験ジャングル探索に力を注ぐことに決めた。

公園入口にある西洋人好みのリゾート施設は、自然との調和が図られているためか、そこで多くの野生動物を観察することができる。巨大な鹿の一種、サルの群れ、オオトカゲ、色とりどりの鳥たちが現れて、我々の目を楽しませてくれる。もちろん、怒らせると怖いツムギアリ、血を吸う山ビル、毒を持つサソリや蛇、巨大ムカデやタランチュラ、そして巨大万年筆ヤスデに巨大ダンゴ虫までがそこかしこに見られる。

まさに大自然である。

夜間活躍する象やバク、イノシシやトラ？など、様々な動物たちを観察するための小屋（ブンブン）、ジャングルの上部30メートルの樹幹に張り巡らせた樹上観察路（キャノピー）もあちこちに配されている。やってきた訪問者の興味、能力に合わせた様々なジャングル探索も出来るという。我々は、早速公園内（観察中心）外（調査、採集可能）の大自然探索を開始した。

死活：飲み水

準備も万端。早朝から終日、蒸し暑いジャングル歩きに励んだ。熱帯雨林のジャングルでは、乾期のこの時期にも毎日驟雨があり、川には濁流が渦巻き、渓谷にはきれいな清水も流れている。このような清水を見ると我々日本人はつい飲んでみたくなる。しかし、日本以外の国では、それは厳禁である。我々は、そこには様々な未知の病原微生物がいることを知っている。かつて、このあたりで戦争があった時、安全な飲み水を確保出来なかったせいでどれだけたくさんの日本将兵が命を落としたことか。蒸し暑いジャングル歩きには、飲み水の確保は最重要である。我々は1日の行程に十分な量の水として、毎日一人2リットルのペットボトル水の携行を心掛けた。ところが……である。

同行の若者は初めての海外旅行、初めてのジャングル歩き、採集である。その意気込み、興奮度は最高に高まっていた。様々な虫の採集・調査に備え、揃えた採集用具の量も半端ではなかった。いつもリュックの中身は一杯。ここへ、国内では持ち歩かない程の大きさのペットボトルを詰め込んだものだから、そこに予期しないアクシデントが起こってしまった。



米が炊けそうな
巨大ウツボカヅラ

天然記念物（日本）
テナガゴガネ
（キャメロンにて）

中間処理と管理型最終処分場との融合施設を見学 青年部会目帰り研修会

去る平成23年11月4日（金）と5日（土）に岡山県産業廃棄物協会青年部の県外視察研修会として、香川県の「株式会社 富士クリーン」へ視察にいきました。

当日は、岡山駅からバスで行く人、電車で行く人、自家用車で行く人とに分かれて、午後1時に高松駅に集合し、バスでいざ視察場所へ出発だ!!

バスに揺られながら40～50分で処分場に到着後、富士クリーン代表取締役社長の馬場さんのあいさつで始まりました。視察はA班とB班に分かれて行なわれました。中間処理施設は、固形燃料(R.P.F)と焼却炉と選別・圧縮・破碎と造粒固化というように中間処理施設の充実と、管理型最終処分場との融合で、全ての廃棄物が処理、処分できる施設になっていました。そして、最終処分場の浸出水はクローズシステムで万全の環境保全体制で行なわれていました。経営的に香川県は、埋立物の県外搬入ができないので、施設的に優れた処分場でも県内のみでは搬入量が少ない状況になり、220万㎡の処分場も、10年で3分の1埋まるかなといったような状況で、あと20年以上は埋立が可能とのことでした。

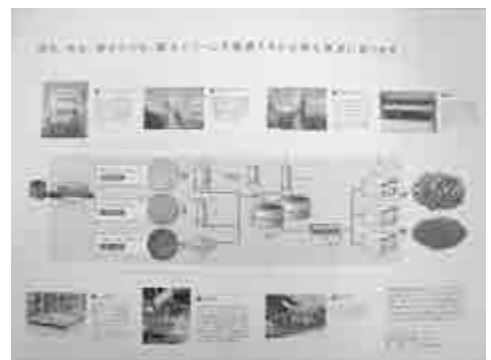


焼却炉は、一般廃棄物の受け入れもしているので、廃棄物の搬入量は変動が少なく、固形燃料と梱包プラスチック燃料は王子製紙に搬出して木材



チップは大倉工業に搬出という形でリサイクルされていきました。粒造固化施設は、王子製紙のばいじん・燃え殻・汚泥を受入れして骨材として再利用をするようになっていました。

また、丁寧に施設見学の説明をしていただき有意義な時間を過ごすことができました。その後、高松市内に場所を移し、懇親会を行ないました。



中村さん2連覇達成!!

趣味の会 第11回ボーリング大会開催

妹尾産業(有) 畑 英 男



2011年12月9日(金)、岡山ジョイポリスにあるサンフラワーボウルで「趣味の会 第11回ボーリング大会」が開催されました。

稲村事務局長、岡山リサイクル協同組合の甲元理事長をはじめ、計32名の方々にご参加くださいました。

ボーリングは各自2ゲームずつ投球を行い、合計得点を競い合いました。なかにはストライクやスペアと取るたびにハイタッチをしたり、大きな「やったー!」という声も聞こえてきました。私、開催側からみて、大変うれしく開催してよかったですと感じました。

ボーリング大会の結果、見事優勝に輝いたのは妹尾産業(有)の中村さんで、なんとスコア379という高得点でした。しかも昨年に引き続きの優勝で2連覇を達成されました。おめでとうございます!!

懇親会では岡山リサイクル協同組合の甲元理事長に乾杯のあいさつをしていただき、あとはみんなでワイワイとしながら時間いっぱい食べて飲んで、大変楽しい会となりました。

趣味の会をお世話して下さった皆様、心よりお礼申し上げます。また協賛いただきました皆様、本当にありがとうございました。

また、来年もよろしく願いいたします。

【協賛いただきました皆様】(あいうえお順)

- ・エコシステム山陽株式会社
- ・エコシステムジャパン株式会社
- ・岡山リサイクル協同組合
- ・倉敷企業合資会社
- ・公協産業株式会社
- ・妹尾産業有限会社

新規入会正会員 紹介

(株)タカラカンキョウ舎^{しゃ}

代表取締役 藤^{ふじ}田^た一^{はじめ}

<収集・運搬>

〒710-0253 倉敷市新倉敷駅前三丁目86番地2

TEL. 086-525-7518 FAX. 086-525-7588

[所属支部：倉敷]

(有) 大^{たい}保^ほ建^{けん}設^{せつ}

代表取締役 大^{おお}守^{もり}保^{やす}信^{のぶ}

<収集・運搬>

〒710-0844 倉敷市福井228番地

TEL. 086-434-6075 FAX. 086-434-9870

[所属支部：倉敷]

協会への入会勧誘のお願い

当岡山県産業廃棄物協会は、創設以来、産業廃棄物処理業者等の相互連携のもとに、産業廃棄物の適正な処理及び再生利用等についての調査・研究・研修・指導・情報提供等幅広い事業を実施することにより、産業廃棄物の適正な処理を推進し、産業の健全な発展に寄与するとともに、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に大きな役割を果たしています。

産業廃棄物処理業界が健全な業界として発展していくためには、業界の方々が結束することにより、組織をより強固なものにして、共存発展することが肝要であります。

協会員の増強については、協会及び関係機関において日頃、勧誘を行っているところではありますが、社団法人として組織率は、未だ十分とはいえないのが現状であります。少数よりも多数組織の拡充強化が、社会的にも発言力が強力なものとなり、説得力も増大し、業界発展の基礎になります。

1社でも多くの方が協会に入会されますことが、更なる発展を期するための、必要な条件であります。

会員の皆様におかれましては、未加入処理業者へは正会員として、また、取引先の排出事業者には賛助会員として、是非ご入会の勧誘をお願いいたします。

入会金及び会費

	正会員			賛助会員
	収集運搬業		中間処理業 最終処分業	
	(車両2台以下)	(車両3台以上)		
入会金	30,000円		60,000円	30,000円
会費	月額：4,000円	月額：6,000円	月額：10,000円	年額：50,000円

入会方法

入会には入会申込書及び業の許可書のコピーを提出していただくこととなっていますので、下記協会事務所へ電話などでご連絡いただければ、入会申込用紙をお送りいたします。

社団法人 岡山県産業廃棄物協会

〒701-1152 岡山市北区津高628-6 TEL：086-254-9383 FAX：086-254-8766

有隣荘（倉敷市）



大原家別邸となる有隣荘は、昭和3年に大原孫三郎が、妻のために建てた別邸で、緑色の瓦屋根が目立つことで「緑御殿」とも呼ばれています。この艶やかな緑色の瓦は、特殊な釉薬が使われており、泉州堺の瓦職人に特別注文したものです。

昭和22年には昭和天皇の宿泊所として使用されるなど、大原家別邸の後は来賓館として使用されていました。現在は年数回大原美術館主催の特別展示室として公開されています。

写真提供：(社)岡山県観光連盟

編集後記

明けましておめでとうございます。

昨年は一言で云うと災害の年でした。

今年辰の年には災害の無いことを願うばかりです。

ただ、日本は地震・台風の国であることは間違いありません。「自分の身は自分で守ることも一人ひとりが考えなければならない。」と教えられた気がします。

皆様のご多幸をお祈りして今年最初の起稿といたします。 (T.M)

会報・クリーン岡山 第45号

平成24年1月25日 発行

発行 社団法人 岡山県産業廃棄物協会

〒701-1152 岡山市北区津高628-6

TEL 086-254-9383 FAX 086-254-8766

編集 総務広報委員会

印刷 萌友出版

山陽興産株式会社

代表取締役 大本修身

〒七二六―〇〇四五
高梁市中原町一五四二一六
電話(〇八六六)二二―一〇三五

坂田砕石工業株式会社

代表取締役 近堂申洋

〒七〇九―三六三三
久米郡久米南町山手六四五
電話(〇八六七)二八―二八一

株式会社廃棄物センター

代表取締役 河原淳

〒七〇八―〇〇一三
津山市二宮八七〇
電話(〇八六八)二八―二〇五一

有限会社久米産業

代表取締役 有本英夫

〒七〇八―一五三四
久米郡美咲町藤原四六八―七
電話(〇八六八)六二―二二七五

末沢建設株式会社

代表取締役 末澤由博

〒七〇八―二二二六
津山市押入二二九―七
電話(〇八六八)二六―一七三三

株式会社ユアック

代表取締役 赤本裕

〒七〇八―一五三三
久米郡美咲町吉ヶ原三九三―二
電話(〇八六八)六二―一五〇〇

有限会社クリーン湯ノ内

代表取締役 川本菊子

〒六七八―〇二二四
兵庫県赤穂市朝日町五―二〇
電話(〇七九二)四五―一八三八

エコシステム ジャパン株式会社

代表取締役 永野立男

〒一〇一―〇〇二一
東京都千代田区外神田四―一四―一
秋葉原UDXビル二二F
電話(〇三三)六八四七―七〇一〇

株式会社オガワエコノス

代表取締役 小川勲

〒七二六―〇〇一三
広島県府中市高木町五〇二―一〇
電話(〇八四七)四五―二九九八

協同組合倉敷市環境
保全協会

代表理事 西本哲夫

〒七二〇一〇〇三八

倉敷市新田二二三二二一八

電話(〇八六)四二二一七三七一

クラレテクノ株式会社

倉敷営業所

営業所長 妹尾智行

〒七二一三一八五五〇

倉敷市玉島乙島七四七一

電話(〇八六)五二五―二二二八

株式会社フルカワ商事

代表取締役 古川悦生

〒七二〇一〇八三五

倉敷市四十瀬三四三一三

電話(〇八六)四二四―八〇二〇

株式会社田中商会

代表取締役 田中 穰

〒七二〇一〇八〇三

倉敷市中島一三九五

電話(〇八六)四六五―三〇五〇

あけまして
おめでと
ございます。



有限会社田中善昭商店

代表取締役 田中善昭

〒七二〇一〇〇五二

倉敷市幸町一―一三六

電話(〇八六)四二二―七八七八

株式会社日住

代表取締役 高橋幸一

〒七一九一〇二五四

浅口市鴨方町六条院東五〇九

電話(〇八六五)四四―七八八八

有限会社昂輝

代表取締役 金原康成

〒七二四一〇〇六二

笠岡市茂平二〇一〇―二

〒七二五一〇〇一九

井原市井原町三五三〇―二

電話(〇八六五)六六―四四四〇

山陽環境開発株式会社

代表取締役 岩元博

〒七二八一〇〇〇三

新見市高尾二三〇四―一

電話(〇八六七)七二―五四一五

有限会社技建産業

代表取締役 根 木 健 二

〒七〇一―一二三三

岡山市北区大窪五七七―一

電話 (〇八六) 二八四―九二二九

有限会社山栄興運

代表取締役 山 下 真 一

〒七〇六―〇三〇四

玉野市番田一〇二五

電話 (〇八六三) 六六一―五七五五

田村碎石工業株式会社

代表取締役 田 村 啓 二

〒七〇九―二一〇七

岡山市北区御津矢原二八五―二

電話 (〇八六七) 二四―〇七二五

有限会社岡山清掃

代表取締役 物 市 卓 久

〒七〇一―〇二〇二

岡山市南区山田一〇七二

電話 (〇八六) 二八一―〇八九〇

あけまして
おめでと
ございます。



横山商事株式会社

代表取締役 横 山 忠 彦

〒七〇一―三三〇二

備前市日生町寒河二五五九

電話 (〇八六九) 七二―一三〇一

有限会社小坂田建設

代表取締役 小 坂 田 利 明

〒七〇九―三二二二

岡山市北区建部町川口一四一七

電話 (〇八六七) 二二―〇二五七

有限会社御津衛生センター

代表取締役 甲 元 政 利

〒七〇九―二二二二

岡山市北区御津字垣一七六二―二

電話 (〇八六七) 二四―一一八四

有限会社豊田建運

代表取締役 豊 田 紀 代 美

〒七〇九―〇七〇四

赤磐市沢原一五四―一

電話 (〇八六) 九九五―〇〇〇一

大三運輸株式会社

代表取締役 中山 和

〒七〇六一〇〇〇一
玉野市田井三―三一―一
電話(〇八六三) 三一―一三二一

株式会社蓬萊組

代表取締役 蓬 萊 富 孝

〒七〇〇一〇九四四
岡山市南区泉田五五―一〇
電話(〇八六) 二六五―五六七一

栄光テクノ株式会社

代表取締役 堀 川 英 輔

〒七〇〇一〇九四三
岡山市南区新福二―七―二〇
電話(〇八六) 二六五―一二三四

岡山砒油株式会社

代表取締役 山 本 誠

〒七〇二一八〇四五
岡山市南区海岸通二―三一―六
電話(〇八六) 二六四―六八六六

あけまして
おめでと
ございます。



株式会社デベロップ岡山

代表取締役 田 口 睦 青

〒七〇一〇二二三
岡山市南区中畦一―一八―三
電話(〇八六) 二九八―三一二五

小野建設株式会社

代表取締役 小 野 勝 己

〒七〇一〇二〇五
岡山市北区佐山一三六四―三
電話(〇八六) 二八四―七一六一

有限会社吉備環境設備

〒七〇一〇一五三

岡山市北区庭瀬九八九―四
電話(〇八六) 二九三―〇五二四

有限会社吉美

〒七〇一〇一六五

岡山市北区大内田一三六七―一
電話(〇八六) 二九三―一〇五二

備前鋼業有限公司

代表取締役 藤井研一

〒七〇一―四二二四

瀬戸内市邑久町本庄八二―二

電話 (〇八六九) 二四―一五九二

明和建設株式会社

代表取締役 黒田正義

〒七〇九―〇六三一

岡山市東区東平島一三九七

電話 (〇八六) 二九七―三七三七

有限会社リサイクル

センター平島

代表取締役 筒井邦典

〒七〇九―〇六三一

岡山市東区東平島二七―一

電話 (〇八六) 二九七―五五八二

アサヒプリテック株式会社

代表取締役 櫻井勉

〒七〇四―八一九三

岡山市東区金岡西町一一五七―一

電話 (〇八六) 九四八―四一七〇

あけまして
おめでと
ございます。



ナカウン株式会社

代表取締役 河田育雄

〒七〇三―八五八〇

岡山市中区倉富三四〇―一八

電話 (〇八六) 二七七―四一四〇

泉建設株式会社

代表取締役 泉正昭

〒七〇二―八〇一三

岡山市南区飽浦一二六

電話 (〇八六) 二六七―五三三三

株式会社岡清組

代表取締役 藤井武士

〒七〇〇―〇八六六

岡山市北区岡南町二―五―七

電話 (〇八六) 二三三―七二三〇

有限会社片岡久工務店

代表取締役 片岡重治

〒七〇二―八〇三三

岡山市南区福富東二―一七―二三

電話 (〇八六) 二六三―二〇一〇

牛窓港湾運輸株式会社

代表取締役 田中三春

〒七〇一―四三〇一

瀬戸内市牛窓町長浜四九五九―二
電話(〇八六九)三四―四九七八

ナ力重量株式会社

代表取締役 中 俊介

〒七〇二―八〇〇六

岡山市中区藤崎五六七―三
電話(〇八六)二七六―六九〇〇

株式会社日本旭東興業

代表取締役 前田 美知敏

〒七〇四―八一八一

岡山市東区浅越二一
電話(〇八六)九四八―二一四〇

有限会社岡一総業

代表取締役 頼 礼

〒七〇三―八二六六

岡山市中区湊一三六三―一八
電話(〇八六)二七四―五七三九

あけまして
おめでと
ございます。



株式会社日本資源開発社

代表取締役 林 茂樹

〒七〇九―〇六〇七

岡山市東区浦間一一〇二
電話(〇八六)二九七―二二二八

新岡山陸運株式会社

代表取締役 木下聖士

〒七〇二―八〇〇五

岡山市中区江崎七四六―三
電話(〇八六)二七六―一一二一

株式会社野崎運輸機工

代表取締役 野崎 文夫

〒七〇四―八一九四

岡山市東区金岡東町二―一四―三三
電話(〇八六)九四二―三三八一

日本エクスラン工業株式会社 西大寺工場
環境リサイクルセンター

産業廃棄物の中間処理(焼却)

[ISO14001認証取得]

〒704-8510
岡山市東区金岡東町三丁目3番1号
URL <http://www.exlan.co.jp>



[事務所]

Tel : 086-942-9840
Fax : 086-942-9850

[現場事務所]

Tel : 086-942-9895
Fax : 086-943-1801

— 焼却処理許可品目 —

産業廃棄物(12種類)

汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれきを除く)・陶磁器くず

特別管理産業廃棄物(3種類)

燃焼しやすい廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ

進化する印刷会社

商業印刷

カタログ、パンフレット、会社案内、学校案内、チラシ、ポスター、カード、チケット etc...
オンデマンドにも対応いたします。

WEB制作

ホームページ(HP)は作ってからが勝負。
本格的なものから簡易、携帯用など作成、更新、SEO対策を行います。
もちろん定期的にアクセス解析も行います。

自費出版

自分史、句集、歌集、小説、記念誌、社史、写真集、研究論文、地域文化誌など、
自費出版アドバイザーがお手伝いいたします。

印刷通販

データをご用意ください。

セミナー事業

ITソリューション活用方法を共に学ぶセミナーです



カタログ
一括請求サイト

岡山住宅総合館

<http://www.okayama-house.com/>

岡山リフォーム総合館

<http://okayama-reform.com/>

岡山の逸品を
ネットでお届け

倉敷本舗

<http://www.kurashikihonpo.com>

facebook 倉敷本舗 いいね!

<http://www.facebook.com/kurashikihonpo>

株式会社 玉島活版所

〒710-0261 岡山県倉敷市船穂町船穂2095-11
TEL (086)552-9494(代) FAX (086) 552-9595

印刷事業部 | URL <http://www.t-inform.co.jp>
mail infor@t-inform.co.jp

WEB事業部 | URL <http://t-k-pro.jp>
mail info@t-k-pro.jp

食品リサイクル法に基づく
『バイオ式生ゴミ処理機』の販売
(9割の生ゴミが減量できます。)

 **妹尾産業 株式会社**

代表取締役 畑 貞 夫

岡山市箕島1306-26

TEL.086-282-0521 FAX.086-282-0647

- ★排水管の洗浄★
- ★粗大ゴミの収集(家庭・事業ゴミ)★
- ★団地内の側溝清掃★

少ない資源を再利用 環境に優しい循環型社会をご提案

岡山県許可番号 第3321048385号



株式会社 石原工務店
中国コンクリート処理場

産業廃棄物中間処理業

- ・がれき類(コンクリート廃材)受入
- ・再生砕石、再生砂、再生割栗石の販売

(岡山県エコ製品認定 岡エコ再生骨材等第5号)

連絡先 本社 : 岡山市東区金岡西町801-1 TEL (086)942-5151
工場 : 瀬戸内市邑久町豊原1964-1 TEL (086)924-0580



Clean & Recycle

私たちは地域の未来に、真剣です。

ISO 14001
認証取得



株式
会社

西日本アチューマツトクリーン

代表取締役社長 **藏本 忠男**

事業範囲

●産業廃棄物処理業

収集・運搬
中間処理(脱水・選別・破碎・固形燃料製造)

●リサイクル事業

建設汚泥の再資源化
流動化処理土製造 再生処理土製造 再生砂・再生砕石 製造

●廃プラスチック類・木くず・
紙くず・繊維くずの再資源化
固形燃料(RPF)製造

●一般貨物自動車運送事業

●レンタル・リース事業

選別機(トロンメル・ふるい機) 移動式脱水車

●建設業

遊楽工事・土木工事・とび土木工事

本 社 〒703-8246 岡山市中区藤原50-1
TEL(086)272-8042 FAX(086)271-1050
URL <http://www.e-nac.co.jp>
E-mail nac@e-nac.co.jp

倉敷営業所 〒712-8044 倉敷市東原5-17-58
TEL・FAX(086)456-4433
箕島事業場 〒701-0206 岡山市南区箕島字小畑3678番
TEL・FAX(086)292-4847

赤穂工場 〒701-2226 岡山県赤穂市山口2131-4
TEL(086)957-4919
FAX(086)957-4922

ISO 9001 認 証 取 得
エコアクション21認証取得
産業廃棄物収集・運搬
中間処理・最終処分場



中野開発 株式会社

代表取締役 **中野 治**

本社/岡山市北区玉柏75
TEL (086) 229-2316(代) FAX (086) 229-3175

土質改良プラント
再生砕石プラント
建設汚泥・混練固化施設プラント



株式会社 エースセンター21

代表取締役 **中野 治**

工場/岡山市北区金山寺603-1
TEL (086) 228-2080 FAX (086) 228-2081



解体工事

金属・非鉄金属リサイクル

産業廃棄物適正処理を通じて、

皆様の次の一步を

お手伝いさせていただきます。

建築物解体全般
製鋼原料・非鉄金属原料
産業廃棄物処理
東京製鐵指定産場店

安田産業株式会社

代表取締役 安田 猛男

本社 〒702-8030 岡山市南区三浜町1-1-18

TEL086-263-3061 FAX086-263-3028

産業廃棄物／特別管理産業廃棄物 収集運搬業



安心・安全による廃棄物運搬を行い

資源循環型社会への貢献に!!

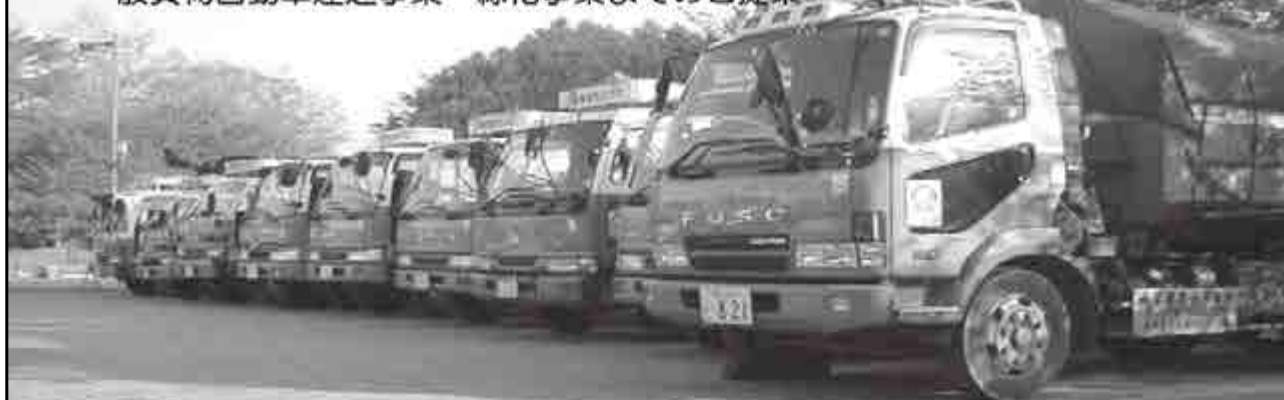
 株式会社 **新岡山工業**

本 社 〒708-1523 岡山県久米郡美咲町吉ヶ原字火の谷 1080 番地
Tel (0868) 62-2775 Fax (0868) 62-2776
E-mail shinokamisaki@cup.ocn.ne.jp

岡山営業所 〒702-8045 岡山県岡山市南区海岸通 2 丁目 6 番 13 号
Tel (086) 264-6703 Fax (086) 264-6003
E-mail shinoka-okayama@arion.ocn.ne.jp

循環型社会に貢献する企業

廃棄物収集運搬（一廃・産廃・特管）
処理処分から、少ない資源の有価物の再利用
一般貨物自動車運送事業・緑化事業までのご提案



山陽美業株式会社

〒710-0826 本社 / 倉敷市老松町二丁目13番30号
TEL086-434-3500 FAX086-422-1331
〒710-0007 倉敷事業所 / 倉敷市浅原276番地
TEL086-422-9113 FAX086-422-3833
URL <http://www.sanyobiogyo.jp>

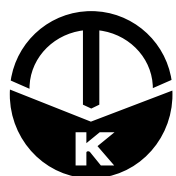
人と地球にやさしくすること それは環境を大切にすること

廃棄物の再資源化により資源循環型社会の実現に貢献します



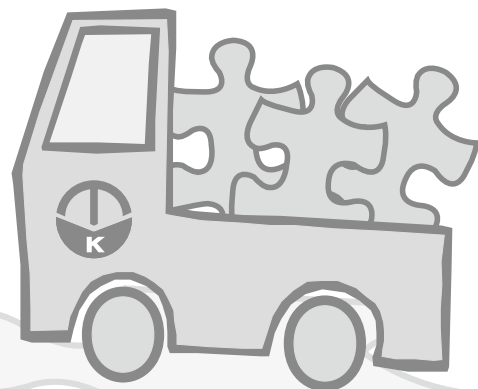
産業廃棄物処分業、特別管理産業廃棄物処分業 水島エコワークス株式会社

〒712-8074 倉敷市水島川崎通1丁目14-5
TEL 086(447)3255 FAX 086(447)3257
URL <http://www.eco.works.co.jp>



タカタニ

www.takatani.jp



良い環境を次世代に残したい

株式会社高谷建設は、循環型社会に取り組みます。



株式会社 高谷建設

〒711-0936 岡山県倉敷市児島柳田町2326-4
TEL (086) 473-3624 (代) FAX (086) 472-6273

地球資源を大切に一フジミツからの提案

リサイクルプラント

緑と環境を
大切にする

フ・ジ・ミ・ツ・の
産廃処理
システム

一般土木／井原市上下水道指定工事店
家屋解体工事／岡山県工コ製品認定店
産業廃棄物収集運搬・産業廃棄物中間処理業

有限会社 藤充建設工業

本社：井原市井原町 3557-29

TEL.(0866)62-0712 FAX.(0866)62-0302

処分場：井原市芳井町宇戸川 2030

TEL.(0866)72-1530 FAX.(0866)62-5545

リサイクル製品ストック販売場：高梁市成羽町佐々木



inoue

- 一般廃棄物収集運搬業
- 産業廃棄物収集運搬業
- 特別管理産業廃棄物収集運搬業

- 排水管つまり抜き作業
- 排水管高圧洗浄作業
- 各種土木・浚渫工事業



有限
会社

井上設備



ISO14001:2004/JISQ14001:2004
当社は●のサイト及び業務について
ISO14001認証取得しています。

●本社

〒702-8024 岡山市南区浦安南町584-3
TEL086-263-8745 FAX086-263-8464

藤田営業所

〒701-0221 岡山市南区藤田2263-6
TEL086-296-0600 FAX086-296-0601

倉敷支店

〒710-0133 倉敷市藤戸町藤戸1498-2
TEL086-428-8615

Brilliant Future

求めているのは、お客様の「安心」「信頼」そして「満足」。

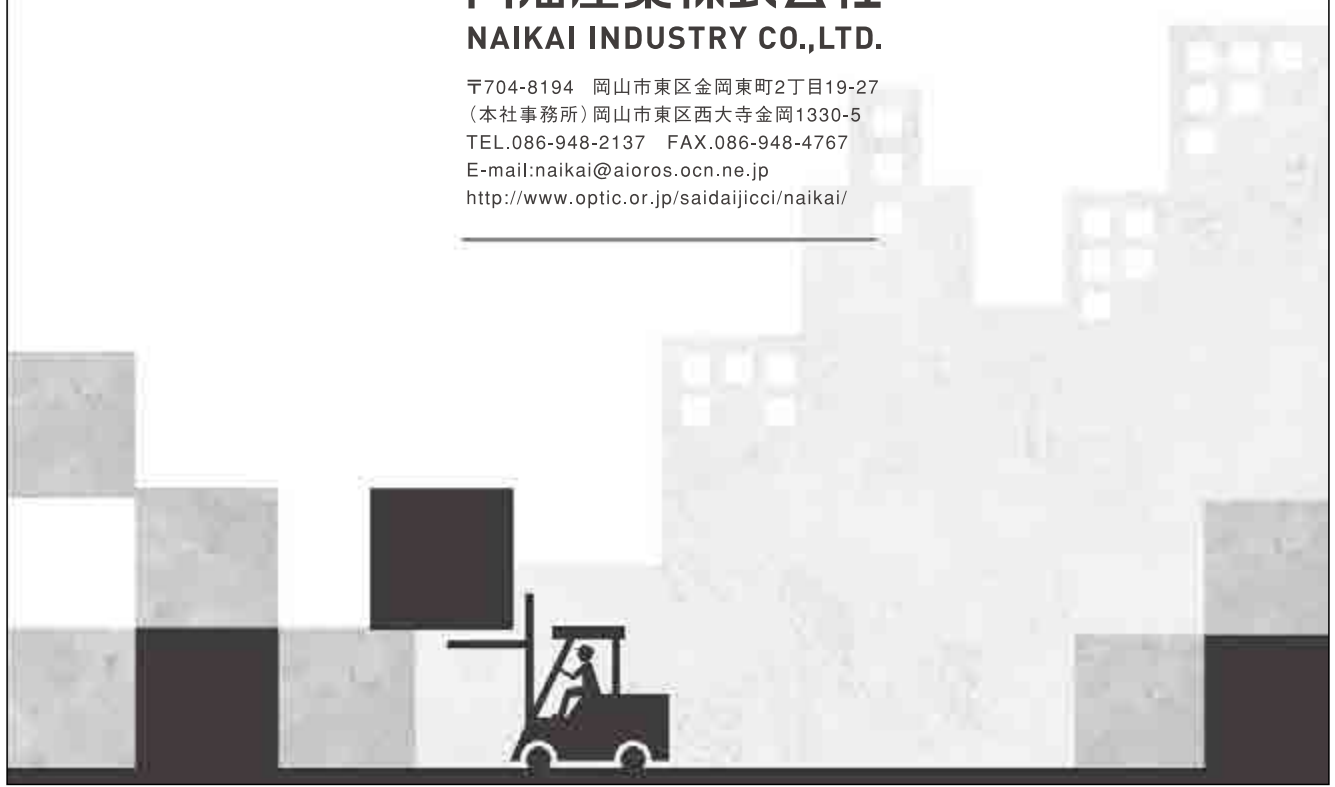
長年にわたって培ってきた「技術」と「ノウハウ」で地域社会に貢献します。



地 域 社 会 に 貢 献 す る

内海産業株式会社
NAIKAI INDUSTRY CO.,LTD.

〒704-8194 岡山市東区金岡東町2丁目19-27
(本社事務所) 岡山市東区西大寺金岡1330-5
TEL.086-948-2137 FAX.086-948-4767
E-mail:naikai@aioros.ocn.ne.jp
<http://www.optic.or.jp/saidaijicci/naikai/>



緑のリサイクル

産業廃棄物から一般廃棄物まで木くず、剪定枝、草の処理なら当社にお任せください。



営業品目 産業廃棄物・一般廃棄物中間処理業 木材チップ生産事業 緑化資材事業
不動産事業 保険代理業



タマタイ産業株式会社

代表取締役 大塚 雅司

本社 〒700-0935 岡山市北区神田町2-1-25

TEL(086)224-3291FAX(086)223-6354

URL <http://www.tamatai.com>

E-mail tamatai@po4.oninet.ne.jp

金川工場 〒709-3234 岡山市北区御津下田450 建部工場 〒709-3121 岡山市北区建部町大田1425

TEL(0867)24-0115FAX(0867)24-2694

E-mail tamakana@citrus.ocn.ne.jp

TEL(0867)22-3865FAX(0867)22-3459

E-mail tamatake@po5.oninet.ne.jp



ISO14001認証取得
(1998年5月)



DOWA

エコシステム山陽株式会社

2011年10月より微量PCB汚染廃電気機器等の処理を開始致しました。

**産業廃棄物の中間処理
(焼却、破碎、油水分離、混練)**

〒708-1523
岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1125
TEL:0868-62-1346 FAX:0868-62-1345
ご用命はエコシステムジャパン(株)
までお願いします。



営業処理品目

●産業廃棄物●

【焼却】燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)-陶磁器くず、がれき類、ばいじん(これらのうち石綿含有産業廃棄物を除く。)

【油水分離】廃油、廃アルカリ(これらのうち石綿含有産業廃棄物を除く。)

【混練】燃え殻(自ら行った処分に係る中間処理産業廃棄物に限り、石綿含有産業廃棄物を除く。)

●特別管理産業廃棄物●

【焼却】感染性廃棄物、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、ばいじん、廃PCB等(抜油後の電気機器内に残存しているものに限る。)、PCB汚染物、PCB処理物(これらのうち微量PCB汚染廃電気機器等に限る。)

【油水分離】廃油、廃アルカリ(特定有害物を含む。)



環境 を考える

産業廃棄物の処理・処分を適正に行い、循環型社会形成のために
リサイクルの推進を行ってまいります。

未来に翔く



倉敷企業 合資会社

倉敷市 許可番号 第10040002863号

ISO14001
認証取得

- ・本社：岡山県倉敷市中央 1-6-24 ☎(086)424-6429
- ・弥高山事業所：倉敷市玉島服部 3318-2 ☎(086)525-8515
- ・黒石事業所：倉敷市黒石 1052 ☎(086)426-1379
- ・大平山リサイクルセンター：倉敷市連島町西之浦 4566-1 ☎(086)448-8224



JQA-EM5372

産業廃棄物中間処理

がれき類(コンクリートくず、アスファルトくず、瓦くず等)、廃プラ、木くず、紙くず、繊維くず、建設汚泥、廃石膏ボード、金属くず、ガラス・陶磁器くず 等

最終処分(安定型・管理型)



再資源化施設
(コンクリートくず・アスファルトくず)



再資源化施設
(木くず)



固形燃料施設
(廃プラ・木くず・紙くず)

岡山県エコ製品(再生砕石、再生砂、改良土)、
木材チップ(燃料用、原料用)、固形燃料(RPF)の販売



中央建設(株)

総合建設業/建物解体工事業

本社 ☎(086)424-6429

本店 ☎(086)284-5118

(株)トヨ商事

倉敷市許可第 10040030706号

本社 ☎(086)424-6429

黒石 ☎(086)426-1379

CO₂削減へ、 稼働実績が証明する ハイブリッドの品質と信頼性



2008年の発売からスタートしたコマツハイブリッド。

全都道府県で活躍しており、稼働時間が13,000時間を超えたものもあります。
その高い品質と信頼性のもと、燃料消費量とCO₂排出量を削減し続けます。

コマツ建機販売株式会社 中国カンパニー

本社 広島市佐伯区藤垂園7-31 TEL:082-922-3111

岡山支店 岡山市南区妹尾3344 TEL:086-282-4141

備前営業所 備前市香登本大町田617-3 TEL:0869-66-7711

新見営業所 新見市高尾763-1 TEL:0867-72-2064

<http://www.e-komatsu.com/chugoku>

実現、走りと経済性の グレート・バランス。



※一部車種を除く。

写真はLK3-FUSOEV13240V。最新型仕様です。

走りに差がつくトータル高性能。 すべての性能に妥協なきバランスを求め「スーパーグレート」は生まれ変わりました。定評ある燃費性能に磨きをかけた「新開発エンジン」を搭載。最新環境技術「BlueTec®テクノロジー」を全車に採用することにより、燃費と環境を両立させました。また、2ペダル「12段INOMAT-II」によるスムーズな走りと安全性を実現。さらに、高水準の安全機能を標準装備しました。時代に応えるクリーン性能はもとより、ゆとりある走りと経済性は、これからの輸送ビジネスに大いなる真価を発揮します。

SUPER GREAT

All for you



三菱ふそうトラック・バス株式会社
www.mitsubishi-fuso.com